

高画質映像監視システム“メルックμⅡ”

Video Surveillance System with High Image Quality "MELOOK μ Ⅱ"

安心・安全への社会的な関心の高まりに伴い、映像監視に対する高機能化の要求が高まっている。当社もこれに応え、コンビニエンスストアなどの中小規模向け高画質映像監視を低コストで実現できる“MELOOK μ (メルックミュー)”を展開している。最新機種“MELOOK μ Ⅱ”は、従来の簡単設置、高画質に加え、カメラ接続台数を16台と倍増させ、記録性能を向上させた。主な特長は次のとおりである。

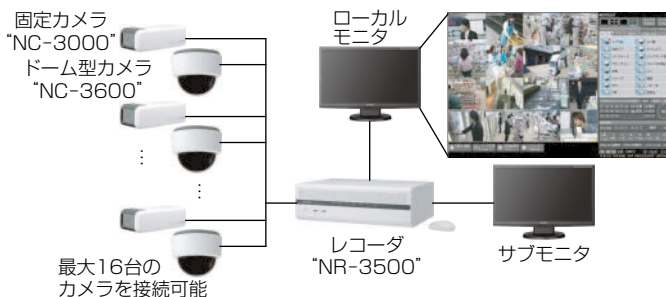
(1) 容易なシステム構築

- ①PoE (Power over Ethernet) によって、LANケーブルでレコーダに接続するだけで、カメラを最大16台使用可
- ②パソコンやネットワーク機器が不要な“かんたん”設置

(2) 高画質映像監視

- ①M-JPEG (Motion-Joint Photographic Experts Group) 方式に比べて圧縮効率の良い動画圧縮方式H.264の採用によって、高精細メガピクセル(1280×960)の映像を毎秒15コマで“滑らか”に記録可
- ②暗い画像を明るく見やすくする“デジタル増感”，ノイズを除去する“デジタルノイズリダクション”によって、暗い場所でも残像やブレの少ない鮮明映像で監視可能

- ③補正処理階調を増した“スーパーファインビューⅡ”で、逆光の出入口でも背景と人物を“くっきり”監視
- (3) コンパクトで使いやすいレコーダ
 - ①消費電力を従来比50%に抑え、大幅な省エネルギーを実現
 - ②本体サイズを従来比80%にコンパクト化
 - ③レコーダが、接続されているカメラを検出し、自動的に設定を行う簡単設定
 - ④当社独自暗号化技術“BROUILLARD”で記録映像を暗号化し、第三者への情報漏洩を防止



メルックμⅡシステム

同軸ケーブル対応デジタル映像監視システム“メルックμ⁺”

Digital Video Surveillance System by Coaxial Cables "MELOOK μ⁺"

セキュリティニーズの多様化に伴い、映像監視システムはアナログ方式からデジタル方式へ移行が進んでいる。アナログシステムをデジタルシステムへ移行する場合、同軸ケーブルのLANケーブルへの変更や、HUBなどのネットワーク機器の追加が必要であり、導入コストが課題となる。新製品“MELOOK μ⁺ (メルックミュープラス)”は、既設同軸ケーブルを有効活用でき、高画質デジタル映像監視システムを低コストで導入できる。主な特長を述べる。

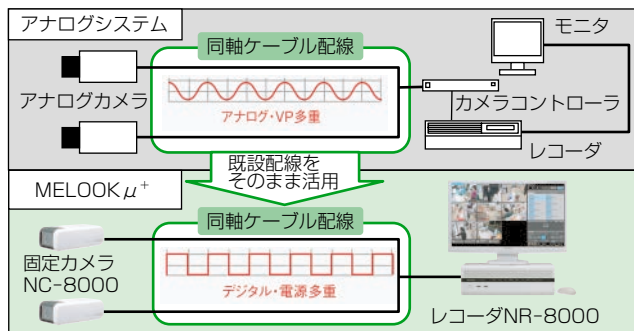
(1) アナログシステムをデジタルシステムへ低コストで更新

- ①当社独自技術によって同軸ケーブルでデジタル映像信号とカメラ電源を多重伝送(カメラ電源、ケーブル配線不要)
- ②カメラとレコーダ間の最大伝送距離は、アナログ方式と同じ500mまで延長可能(同軸ケーブル5C2V使用時)

(2) シンプルなシステム構成で“かんたん”に設置

- ①レコーダにスイッチングHUBとカメラ電源、同軸ケーブルモデムを内蔵したため、パソコンやHUBが不要

- ②カメラ(最大8台)とレコーダを接続するだけのシンプルなシステム構成で“かんたん”設置を実現
- ③レコーダは縦置きできる省スペース対応
- (3) メガピクセル映像をくっきり、滑らかに表示・記録
 - ①毎秒15コマのメガピクセル映像で滑らか表示・記録
 - ②“デジタル増感”“デジタルノイズリダクション”“スーパーファインビューⅡ”機能によって、暗所や逆光の出入口でも鮮明で、くっきりした画像で監視可能



アナログシステムからデジタルシステムへの移行

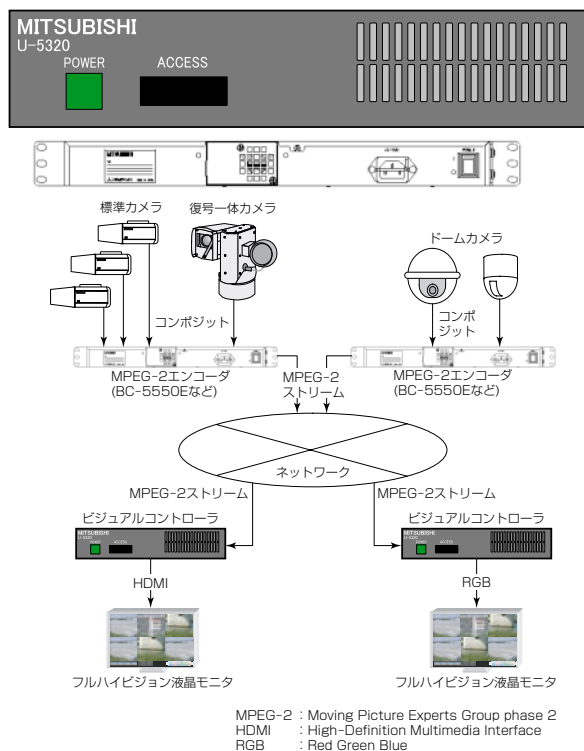
ビジュアルコントローラ “U-5320”

VisualController "U-5320"

近年の風水害などの自然災害多発による防災対策への期待が高まっており、官公庁分野では迅速・的確な現地状況把握及び情報提供が求められている。またインターネットの普及による情報コストの低下、地デジ移行によるモニタのハイビジョン化進展から、より情報量が多い映像監視が可能となっている。

今回開発の“U-5320”は次の特長を備えたMPEG-2デコード装置であり、従来品より性能を大幅に向上させ、ハイビジョンモニタに対応し多彩な監視機能を提供することによって、監視業務の効率化を実現している。

- (1) 既設システムの改造なしで簡単設置が可能
- (2) リモコンによる簡単操作でカメラ映像を閲覧
- (3) 全画面表示に加え2, 3, 4, 6分割の多彩な表示を備え、多地点の監視を実現
- (4) 6画面すべてをフル動画で表示が可能
- (5) イントラ内のWebコンテンツもカメラ同様に選択表示
- (6) ビジュアルインタフェース(オプション)の追加でカメラ制御(パン・チルト等)もリモコンから操作可能



系統図

クラウドサービス事業者向け通信ゲートウェイ

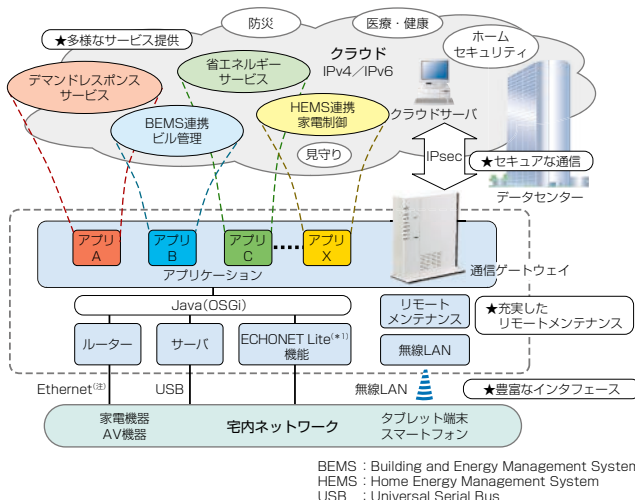
Communication Gateway for Cloud Computing Service Providers

近年、宅内機器の高度化、クラウドサービスの普及、宅内ネットワークの通信規格が整備されてきたことに加え、Java^(注)ベースのサービスプラットフォームを提供するOSGi(Open Service Gateway initiative)標準仕様が整備されたことによって、宅内へクラウドサービスを提供できる環境が整いつつある。こうした中、宅内とクラウドをつなぐ通信ゲートウェイ装置は宅外と連携した様々なクラウドサービスを提供する機器として重要な役割を担っている。当社は、クラウドサービスを提供するサービス事業者向け通信ゲートウェイを開発した。特長は次のとおりである。

- (1) ネットワーク収容機能として、ユーザー宅内の各種機器との通信のために、1Gbps対応有線LAN、300Mbps対応無線LAN(802.11n)を標準搭載している。
- (2) ルーター機能として、クラウドシステムとの通信のために、ブロードバンドルータ機能を搭載している。
- (3) アプリケーション搭載機能として、ルーター機能の上で各種アプリケーションを実行する環境として、Java仮想マシン、OSGiフレームワークを搭載している。これを利用して、接続機器からのデータ収集や接続機器の制

御、クラウドシステムとの連携機能等のアプリケーションをJavaバンドルとして搭載可能である。

* 1 ECHONET Lite規格は、エコーネットコンソーシアムが提唱している通信ネットワークのミドルウェアに関する技術規格の名称である。



サービス事業者向け通信ゲートウェイによる
クラウドサービス提供プラットフォーム